

2018  
12.17

月4回  
月曜日発行

第1082号

# 週刊ビル経営

発行所 ㈱ビル経営研究所  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-17-12 2F  
TEL 03 (3543) 7421  
FAX 03 (3543) 5839  
発行人 垂澤清三  
年間購読料25,000円(税別)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大郎取材班グループ

## ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所  
代表取締役 出村 亜希子  
奈良女子大学大学院修了後CM  
会社を経て現職。一級建築士、  
宅建士。「倉庫ドクター」とし  
て建築面からオーナー支援に取  
り組む。

暖かです。涼しい建物です。リノベーションするには、最適なんでしょう。実際、欧米ではグリーグルやヤフー、アップル、フットボール、ファッション雑誌などでは写真や映像との相性も良く、ファッショ

倉庫をリノベーションした物件は、オフィスビルと比べて安価な賃料が魅力の一つです。内装もしっかり作り込むというよりは、コンクリート剥き出しの空間を活かしてインダストリアルな魅力を創出することが多いようです。もとの倉庫としての魅力を活かすことはローコストにつながりますし、また最近では環境意識の高まりから、環境負荷の大きいスクラップ&ビルドによって生まれたい新築物件ではなく、サステイナブルを重視したリノベーション物件が選ばれる場面も増えています。

### 刺激を創出する クリエイティブな倉庫風新築

さらに最近では、新築でも倉庫をテーマにした施設が出てきています。これまで新築といえば、パネル天井とクロス張りの壁とタイルカーペットの床という設備以外に選択肢はあ

りませんでしたが、それが昨今ではパネルリフト打ち放しの内装、金属の質感を前面に出した建具など、倉庫をリノベーションしたかのような内装が出ています。また興味深い流れだとも感じます。

また高い天井や港湾立地なども相まって醸し出される倉庫建築の非日常性には、クリエイティブな刺激を